



一般社団法人

日本石材産業協会
The Japan Stone Industry Association

第1回静岡県支部理事会 会議議事録

日時：2015年5月20日（水）

16:00～18:00

会場：マッターホルン

1. 出席者 加藤支部長、杉江会計、北原支部理事、藤島支部理事、桜井支部理事、掘支部理事、望月顧問、中西(議事録作成)
2. 加藤支部長挨拶・報告
 - ・支部総会が無事終了した。県技能士会の会合の際、石産協支部総会について会長から高い評価をいただいた。
 - ・5月14日本部理事会に出席した。石博(3/7,8)自体は良かったが、予算を大きくオーバーしたことで紛糾した。
 - ・大阪で6月25日に定時総会が開催される。委任状がまだ足りないので早急に提出する。
 - ・東京海上日動火災の賠償保険に加入できる。墓地工事の際に隣の墓石を傷つけたなどの保証。会社全体の売上に対して保険料が決まる。墓石工事売上だけでなく全体売上。
 - ・墓石部会関係で、日本香堂のhappy-shine事業(墓掃除)に希望者は参加申込をする。
3. 望月顧問
 - ・石博来場者の7割は東京以外から来ている(アンケート結果より)。
 - ・各地から集めた石は芸大に寄付した。
 - ・石博の支出額は大きくオーバーした。広告収入分を使うことの承認も得ていない。総会が開催できなくなるとの事で理事会は通したが総会ではもめる。
4. 議事内容
 - ①. 行事について

お墓相談室の見直しをする。他の事業を考えたい。

東海地区として三重県の五輪塔修復を予定しているが、静岡でも同様のことはできないか。直す技術があるのか。復元能力のある技術者がいるか。文化財は修復手続きが面倒。

6月19日東海地区役員会で方針を決める。三重県の様子を伺いながら当支部も検討する。

散骨について

海への散骨で人気があるのは駿河湾と相模湾。

漁業協同組合をはじめ漁師は海洋散骨の現状を知らない。静岡県には漁協が25ある。

市町村レベルの散骨を制限する条例はあるが、都道府県レベルでは無い。

漁協を巻き込んでなんとか県条例までもっていきたい。

次回理事会までに散骨業者とその活動状況の情報を集める。

散骨を中止に追い込んだ手法や現在散骨でもめている事例を集める。

②. 支部会費について

- ・ 79社中54社が集金済み。
- ・ 未払い会員に対して各支部理事が督促する。

③. その他

- ・ お骨を火葬場へ置いていってしまう人がいる。
- ・ 石産協ではお墓.comのような販売業務はやらない。
- ・ 石産協でやっている事（部会や委員会の情報など）を会員に説明する。
- ・ 準会員をなくし全て正会員とする方向で動いている。
- ・ お墓物語やお墓の取扱説明書を支部で買って会員に配ったり、お墓の取扱説明書の地方版の作成に補助金を回したらどうか。

5. 次回理事会：7月8日（水）